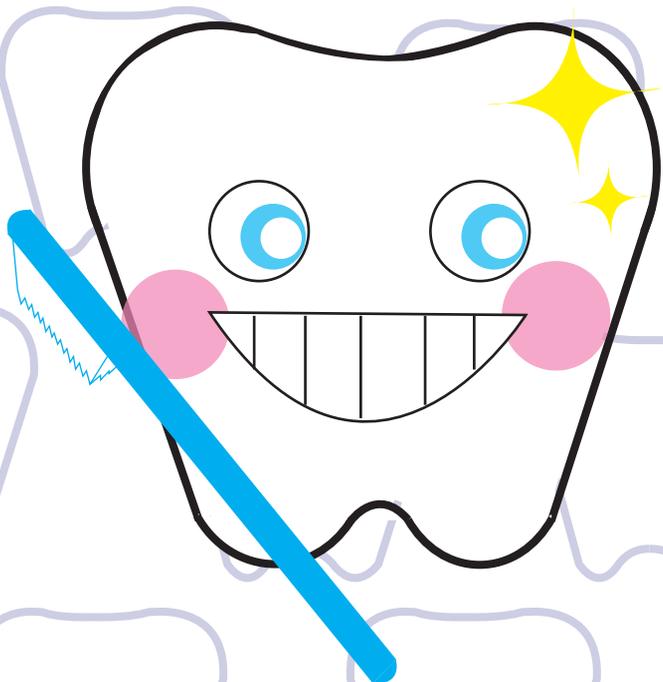


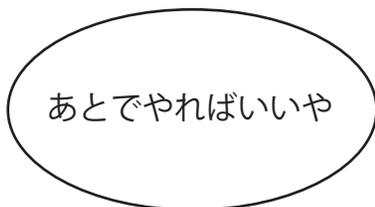
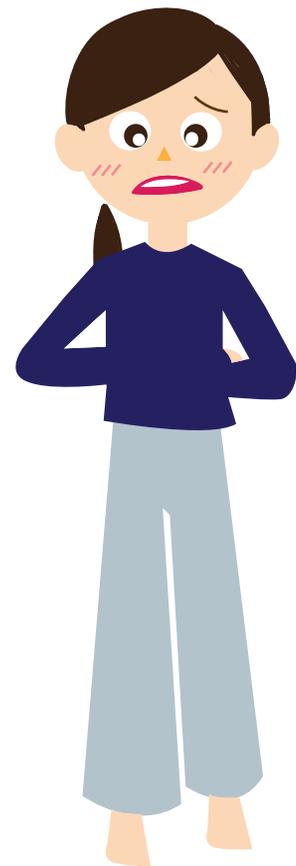
はじめくんと

歯





「歯みがきしなさい！」



「これおわったらやるね」



よなかにゲームをしていた
はじめくんはおかあさんに
歯みがきをしなさいと
ちゅういされました。



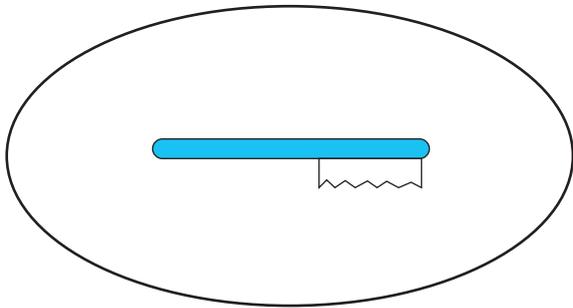
「わすれずに歯みがき
するんだよ？」



「わかった～」



はじめくんはねるまえに
歯みがきをやると
やくそくしました。



「あしたのあさやれば
いいよね」



はじめくんは
ねるまえにやるといった
歯みがきをやりませんでした。

「歯みがきはやったの〜?」



「ちこくするから
もういくね!!」



つぎのひのあさ
はじめくんは
ねぼうしてしまい
歯みがきをせずに
がっこうにいてしまいました。

ほうかごにはじめくんは
ともだちといえで
あそぶことにしました。

「おばさんありがとう！」

「やった！！」



おかあさんがドーナッツを
かってきたので
ともだちとたべました。

はじめくんは、歯みがきをせずに
あそびにいきました。

「まってー！！」

「あっちでサッカー
しよう！」



はじめくんは、また歯みがきを
わすれてしまいます。

歯みがきをわすれることが
つづいたあるひはじめくんは、
おかあさんとだいすきなおやつを
たべていました。

「いただきます！」



「おいしそう！」



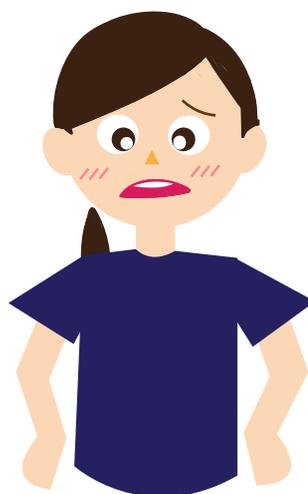
すると・・・



いたっ！

はじめくんはいつも歯みがきを
しなかったので、
むし歯になってしまいました。

「どうかしたの？
みせなさい！」



「なんでもないよ」

「むし歯じゃないの！？
歯みがきしなかったのね」

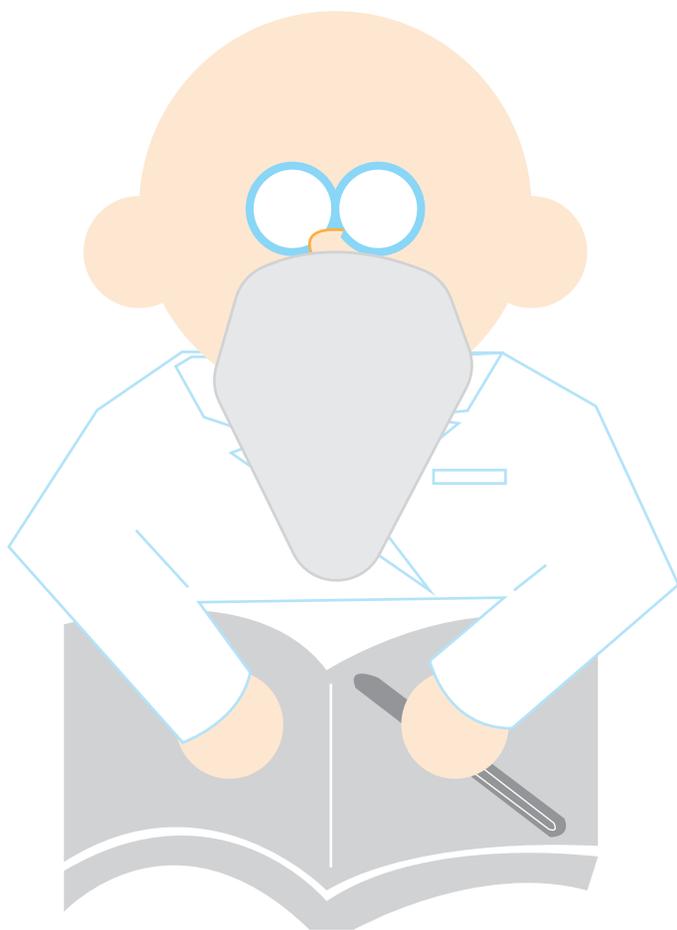


「ごめんなさい」

はじめくんはおかあさんと
歯いしやさんにいきました。

はじめくんは歯いしやさんに
いわれました。

「まいにちちゃんと歯みがきをしないと
またこんなめにあうよ
もうここにはもどってきたらだめだよ。」



「お菓子のたべすぎ
もよくないわ。」

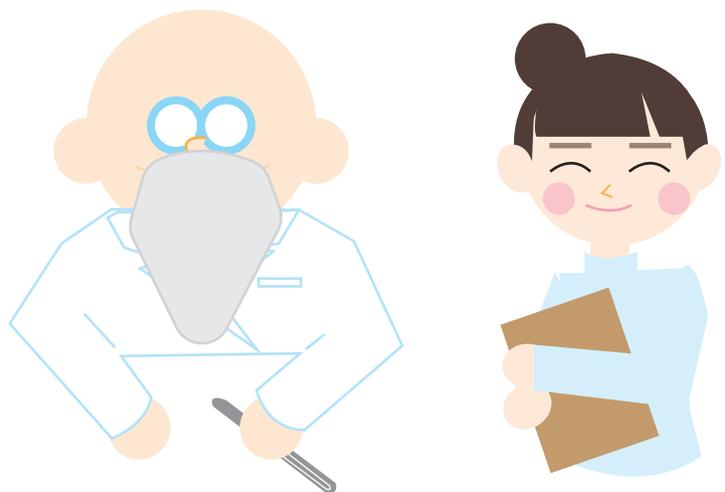


歯いしゃさんに
ちゅういをもらった
はじめくんは
おかあさんにあやまりました。

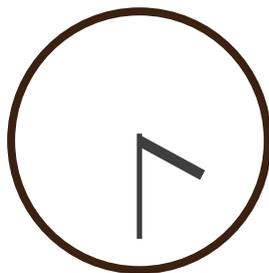
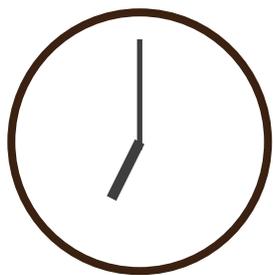
「おかあさん
ごめんなさい」



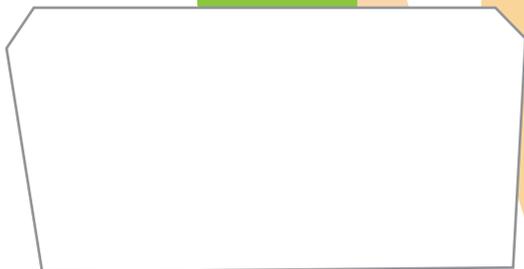
はじめくんは
歯みがきをわすれない
むしばにはならない
とちかいました。



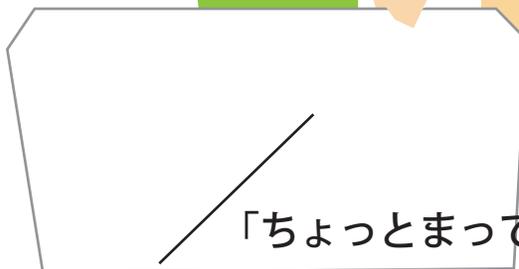
それからはじめくんはまいにち
歯をみがくようになりました。



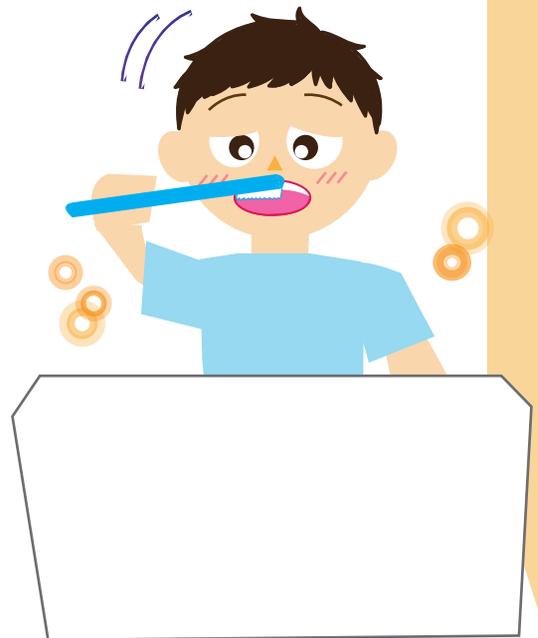
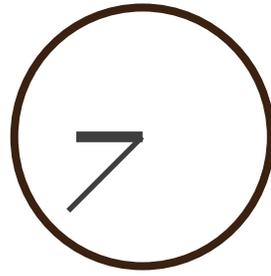
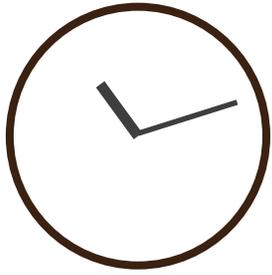
「おはようー」



「はやくしてー！」



「ちょっとまってよー！」



それから、なににちかたって
はじめくんはかぞくといっしょに
おでかけすることになりました。

「はじめ～歯みがきは
おわったの～？」

「さっきおわったよ～」

